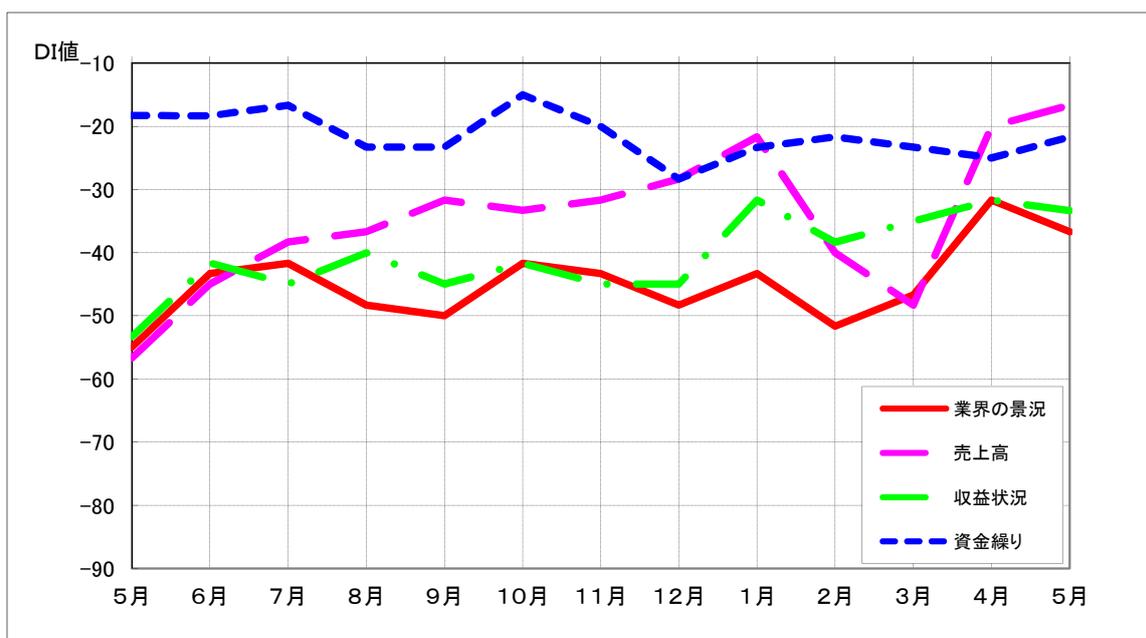


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年5月～平成24年5月

単位:ポイント



	H23					H24							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
業界の景況	-55.0	-43.3	-41.7	-48.3	-50.0	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7
売上高	-56.7	-45.0	-38.3	-36.7	-31.7	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7
収益状況	-53.3	-41.7	-45.0	-40.0	-45.0	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3
資金繰り	-18.3	-18.3	-16.7	-23.3	-23.3	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7

○5月のDI値は前年同月に比べ、3項目で改善した。「業界の景況」DI値は18.3ポイント、「売上高」DI値は40ポイント、「収益状況」DI値は20ポイントとそれぞれ改善し、「資金繰り」DI値は3.4ポイント悪化した。前月比で見ると、「売上高」、「資金繰り」はともに3.3ポイントとそれぞれ改善したが、「業界の景況」は5ポイント、「収益状況」は1.6ポイント悪化した。製造業では、受注の減少、非製造業では、売上高の減少傾向が顕著で、収益状況を圧迫している。総じて、需要の停滞が続き、見通しが立たない低調な状態が続いているという声が多い。

○組合の特記事項からは、製造業では、食料品製造業からは原材料の価格上昇や出荷量、生産量の減少で厳しい経営環境であるという声、木材・木製品製造業、鉄鋼・金属製品製造業、一般機器製造業では受注が減少しているという声が出ている。非製造業では、商店街からは天候不順で寒さが続き市況は全体的に低調であるという声、サービス業・建設業から売上高が減少しているという声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望事項として、早急な円高対策、景気浮揚対策を望む声があった。